



福音讃美歌ジャーナル

福音讃美歌協会

新しい歌を
主に歌え

■巻頭言■「賛美と預言」

福音讃美歌協会理事 小川宣嗣

「ダビデと將軍たちは、アサフとヘマンとエドトンの子らを奉仕のために取り分け、立琴と十弦の琴とシンバルをもって預言する者とした。…立琴をもって主をほめたたえ、賛美しながら預言する彼らの父エドトンの指揮下にあった。」

歴代誌 第一 25章 1,3節

教会福音讃美歌を使用し始めて約2年になりますが、筆者の出席している教会では、毎月新しい1曲を“今月の歌”として選曲し、4～5回ある礼拝（勿論、その他の集会でも）で歌い続けて行きます。最初はおそろおそろメロディーを追いかけるのが精一杯の状態ですが、やがてある程度曲調に慣れて来ると、今度は音符のすぐ下にあるひらがな中心の歌詞よりも、右ページに印刷されている、より意味を捉えやすい漢字交じりの歌詞を味わえるようになり、やがて曲と歌詞が心の中でマッチして、力強く確信を持って賛美できるようになって行く体験を重ねています。月初めの“今月の歌”の歌声は弱々しいのですが、月の後半になるにつれて、礼拝の場を満たす賛美の響きが変わって行くことは大きな喜びです。

冒頭のみことばでは、ダビデの時代に、神殿で献げられた主への賛美と預言することの関係が示唆されています。通常、預言とは、神のみことばを預かって伝える畏れ多い務めで、だれでもができる、またしてよいことではありません。しかし、真の賛美は預言に通じるという視点には、考えさせられるものがあります。礼拝の場においても、日常生活の場でも、絶えず御霊の導きに従い、真実な信仰と祈りの歩みを心しながら、自らの置かれたあらゆる環境・状況・立場の中で、楽器や歌声（歌詞）をもって主を賛美することは、神のことば（聖書）とみわぎの裏付けを伴う讃美歌本来の性質に照らして、預言することに通じるのではないのでしょうか。

かつて、預言することを特別な人の働きに限定しようとしたヨシュアに対して、モーセは言いました。「主の民がみな、預言者となればよいのに。主が彼らの上にご自分の霊を与えられるとよいのに」

（民数記11:29）。そして、ペンテコステの出来事は、主の弟子たちをみな、ある意味で預言者へと変貌させました。

願わくは、『教会福音讃美歌』がいよいよ用いられ、賛美しながら預言する礼拝の民・主の弟子たちが増し加えられるように。

CONTENTS

	頁
・巻頭言「賛美と預言」 小川宣嗣	1
・ホームページ情報 飯田勝利	2
・理事・監事改選のお知らせ	3
・『教会福音讃美歌』編集作業の道り 第3回 中山信児	3
・CD紹介「THE ENGLISH HYMN」	5
・INFOMATION	6
・会計報告	7
・ハレルヤぼうや Yukiko	8

ホームページ情報 新しい機能・情報が追加されました。

<http://jeacs.org/>

福音讃美歌協会理事 飯田勝利

■検索機能

トップページから「歌詞・タイトル検索」か「歌集検索」のいずれかを選んで『教会福音讃美歌』の内容を検索することができます。讃美歌選びにご活用ください。

「歌詞・タイトル検索」をクリックすると下のような検索ページが開きます。入力欄に検索語をひらがなで入力して、「検索実行」をクリックすると、検索結果が表示されます。

[検索メニューへもどる](#)

■歌詞・タイトル検索

■使い方

歌詞やタイトルの一部を入力してください。
それを含む曲が表示されます。
ひらがなで入力してください。(「しゅいえす」等)
複数の語を半角スペースで区切って入力すると、すべてを含む曲を検索できます。

「歌集検索」をクリックすると下のような検索ページが開きます。入力欄に番号を半角英数字で入力して、「検索実行」をクリックすると、検索結果が表示されます。

[検索メニューへもどる](#)

■歌集検索

教会福音讃美歌 ▾

■使い方

『教会福音讃美歌』の曲番号を入力してください。
他の歌集では何番に掲載されているか検索します。
逆に、他の歌集の曲が『教会福音讃美歌』では何番かも検索できます。
ただし『教会福音讃美歌』に掲載されている曲のみ表示されます。

■正誤表

これまでの修正箇所をまとめた正誤表を、ホームページにアップいたしました。讃美をされる際に、注意していただきたい主な修正箇所は以下のとおりです。

- ・233頁(114番)** 楽譜外歌詞の2節1行目、ひらがなで「みうせし」に修正。
- ・277頁(136番)* 楽譜外歌詞の1節1行目、「と」を挿入し「なしとひとり」に修正。
- ・797頁(412番)** 楽譜外歌詞の3節2行目、「き」を削除し、「導かるるまま」に修正。
- ・410頁(203番)*** 楽譜の3段目3小節目4拍目、ソプラノ「ラ」を「ソ」に修正。
- ・438頁(219番)* 楽譜の3段目ト音譜表ソプラノ2個目の音、「ラ」を「ソ」に修正。
- ・393頁と395頁(194番と195番)** コードの誤りがあります。正誤表をご覧ください。

*「二刷」以降は修正済み。**「小型版」以降は修正済み。***未修正。

◆収録曲一覧

新機能ではありませんが、『教会福音讃美歌』の収録曲506曲のうち324曲について、MIDI音源とMP3音源で聞いていただくことができます。また、その曲が既存の歌集から採用されている場合は、採用元の歌集とその番号も知ることができます。パソコン、スマートフォン、タブレットの場合は、トップページから「一部MP3音源付」を開き、聞きたい曲の「日本語題」をクリックしてください。日本語題に下線の無いものは、まだ音源がありません。

■理事・監事改選のお知らせ■

2014年6月23日の定期総会において、理事と監事が改選されました。任期は2年です。

理事長	安藤能成	日本同盟基督教団	世田谷中央教会牧師
副理事長	田中進	イムマヌエル綜合伝道団	大宮キリスト教会牧師
会計	藤本侃也	日本福音キリスト教会連合	キリスト教朝顔教会
書記	小川宣嗣	イムマヌエル綜合伝道団	聖宣神学院キリスト教会牧師
	土井康司	日本同盟基督教団	下北沢聖書教会
	飯田勝利	日本福音キリスト教会連合	結城福音キリスト教会牧師
監事	熊谷邦男	イムマヌエル綜合伝道団	立川キリスト教会牧師
	山村雅彦	日本同盟基督教団	古河教会

『教会福音讃美歌』編集作業の道のり

連載第3回

福音讃美歌協会 讃美歌委員 中山信児

1. 資料収集

資料収集は讃美歌集編纂の初めの一步であり土台でもあります。讃美歌集編纂のために必要な資料は多岐に渉ります。収集した資料をざっと分類するだけでも以下のような項目を立てることができました。

- ・ 讃美歌集（主に日本語、英語、ドイツ語。歌詞版、教会や個人発行の小型歌集を含む）
- ・ 讃美歌詞集（日本ではこの種の書籍はほとんど見当たらない）
- ・ 讃美歌学関係（歌集略解、讃美歌解説、インデックスを含む）
- ・ 礼拝学関係（式文を含む）
- ・ 日本語関係（各種辞典、現代文法、古典文法、表記法、音韻論、差別語不快語、他）
- ・ 文学関係（詩学、創作の手引き、詩集、歌集、翻訳論、他）
- ・ 歴史、伝記関係（讃美歌の背景となる社会と教会について、讃美歌作家の伝記、他）
- ・ CD、音源、映像（礼拝や式典の映像、講義映像を含む）

この中で、我々が最初に手掛けたのは「讃美歌集」の収集でした。古今東西の讃美歌集を網羅的に収集できると理想的なのですが、人員、能力、時間、資金のいずれも限られた中でのことですので、いきおい日本語、英語、ドイツ語のものが主体となり、時代的にも比較的新しいものが中心となりました。

我々の目標は日本語の讃美歌集の編纂でしたので、最も重要な資料はやはり日本語の讃美歌集になります。日本語の讃美歌集については、『新撰讃美歌』（1888年）以降の大型讃美歌集はほぼ参照することができました。

時間的なことを言うと、讃美歌集の寿命は、讃美歌それ自体の寿命よりも格段に短いという現実があります。すぐれた讃美歌は数百年の寿命を持ちますが、讃美歌集の寿命は30～60年程度と言われます。多くの場合、大型の讃美歌集ならば、百年以上前に作られたの讃美歌が全体に占める割合は三分の二を越えるでしょう。個々の讃美歌が時代を超えて生き続けるのに比べ、讃美歌集は時代の変化に敏感でその寿命は短いのです。ですから、古い讃美歌集は歴史の史料としては価値がありますが、現代における讃美歌集編纂のための資料的価値はほとんどありません。

一方で、個々の讃美歌が長い寿命を持ち得るのは、讃美歌集編纂の過程で延命措置が施されているからでもあります。歌詞の古いことばを新しい言葉に置き換えたり、古い様式の曲を同時代の人々の歌いやすい様式に書き換えることは、編集作業のひとつに数えられるのです。

「讃美歌詞集」というジャンルの書籍は、日本ではほとんど見ることはできませんが、英語圏ではそれほど珍しいものではありません。理由は幾つか上げることができます。どれも日本ではまだ足りないところです。

- ・ 讃美歌の替え歌文化のある英語圏では「讃美歌詞」は、独立した単位となり得る。
- ・ 定型詞を朗読し、味わい、創作する文化がある。
- ・ 継続的に讃美歌詞を創作している人たちが存在する。

いずれにしても、「讃美歌詞集」は讃美歌集編纂において参照すべき大切なリソースのひとつです。また、多くの場合そうであるように讃美歌作詞家が著者となっている場合は、讃美歌詞の底本としての役割も果たしてくれます。

2. 資料収集におけるインターネットの利用

ここ十数年の間に、インターネットを通して洋書や古書を短時間で安価に入手できるようになったことで、資料収集の手間、時間、コストを以前に比べて大幅に縮小できるようになったのは大変ありがたいことでした。

また、『新撰讃美歌』や『リバイバル唱歌』など、いくつかの古い讃美歌集では、すべてのページが画像としてデジタル化され、インターネットで参照できるサービスがあります。英語圏の古い讃美歌集のいくつかは、歌詞のテキストがすべてテキスト化されています。他にも、さまざまなかたちで讃美歌のデータを分類整理して提供しているサイトがあります。インターネットでは、讃美歌名や作者名を検索するだけで、音源や映像も含めた多くの資料に出会うことができます。

ただし、インターネット上の情報は便利ではありますが、信頼性において限界があります。例えば、個人的感想と学問的定説が区別なく掲載されていたり、テキストの打ち間違いや改竄などのケースもしばしば見られました。何より問題なのは、その文章、ページ、サイトがいつまでも存在するという保証が無いことです。インターネット上の情報は、ある日突然消えてしまうかもしれない危うさがあります。重要なポイントでは、可能な限り印刷された資料を交えた複数の証言を揃えること、大切な資料は保存しておくことが必要になります。

Wells Cathedral Choir
Rupert Gough (organ)
Malcolm Archer (conductor)

- 1 Christ Triumphant
Great hymn tunes of the twentieth century
- 2 Jerusalem the Golden
Great hymn tunes of the nineteenth century
- 3 Hills of the north, rejoice
Hymns for the Church year
- 4 All things bright and beautiful
Hymns for Children
- 5 Lead, kindly Light
Hymns of Faith and Assurance

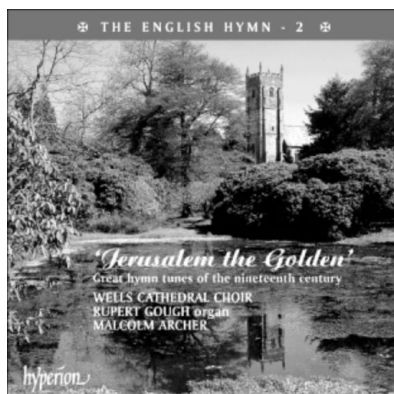
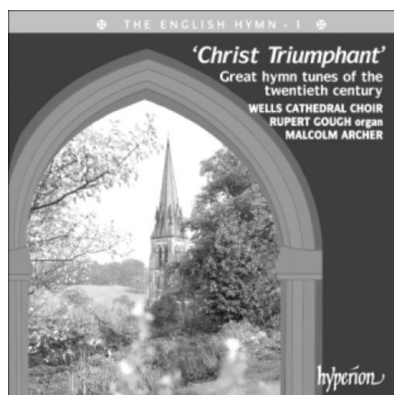
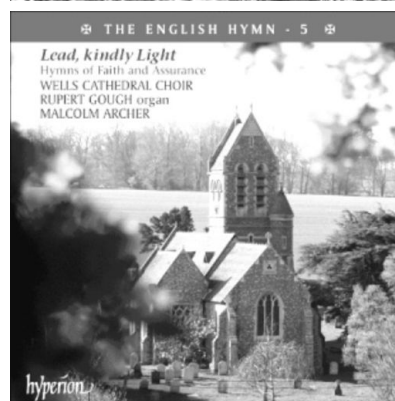
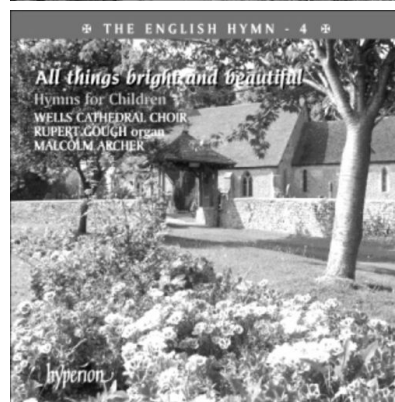
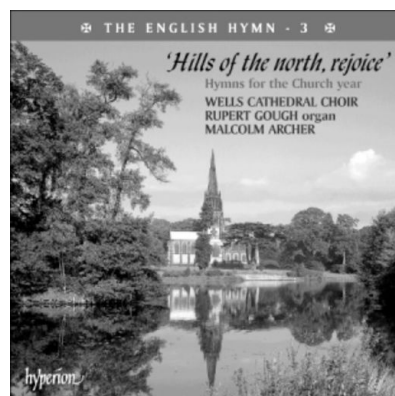
イギリスのハイペリオン・レコード (Hyperion Records) からリリースされた全5巻から成るこのCDシリーズには、英語讃美歌の最良の実が収められています。

CDのタイトルには、各巻の収録曲から代表作のタイトルが選ばれ、それぞれに編集コンセプトを表すサブタイトルが付けられています。「20世紀の讃美歌」「19世紀の讃美歌」「教会歴のための讃美歌」「子どもの讃美歌」「信仰と確信の讃美歌」という分類のおかげで、統一感のある分かりやすいシリーズとなりました。

すべての曲はカテドラルの聖歌隊がパイプオルガンの伴奏で歌うオーソドックスなスタイル、もしくはアカペラで演奏されています。それでいて、全巻通して聴いてもまったく厭きがこないのは、聖歌隊の技量の高さ、オルガニストのレジストレーションの巧みさ、そして何より曲そのものの持つ魅力と、それを最大限に生かす選曲、配列、解釈がなされていることによるでしょう。

選曲の方針は、イギリスで2000年に出版された新しい讃美歌集 "Common Praise" と通じるものがあります。古い讃美歌を大切にしながら新しい讃美歌にも目を配り、福音的なジュビラテグループに属する作家たちの作品を多く収録しています。スタイルも中身も目新しさや奇抜さに流れず、最高のものを追究する姿勢は、いかにもイギリスらしいと言えるでしょう。

ハイペリオン・レコードのサイト (英語) から全曲試聴することができます。



❖ INFORMATION ❖

♪ CD『教会福音讃美歌 vol.2 -新しい歌-』（10月発売）会員教会特価のご案内

会員教会の皆様には、定価 2700円を特価 2100円（いずれも税込み）での特別注文を受け付けております。特別注文には会員教会に郵送される「特別注文書」をお使いください。特別注文の締切は2015年1月末日です。なお、特別注文は書店では受け付けておりませんので、書店へのお問い合わせはご遠慮ください。

♪ OBIセミナー 第6回 教会福音讃美歌セミナー

午前の講義では讃美歌の創作について、詞と曲の両面から学びます。午後はクリスマスの讃美歌について、さまざまな思いと取り組みを分かち合うパネルディスカッションです。

■日時：2014年11月22日（土）10:30～15:35

■場所：御茶ノ水クリスチャンセンター 地下1階 アイリーン・ホール（416号室から変更）

■共催：お茶の水聖書学院、福音讃美歌協会

■受講料 1日4回で 6,000円。 部分参加の場合は、1回 2,000円

■お問い合わせ：OBI事務局 03-3296-1005

セミナー内容

	時間	内容	講師
1 限	10:30-11:30	讃美の詞ができるまで ～ 作詞・訳詞のプロセス解説	中山信児
2 限	11:35-12:35	讃美の曲ができるまで ～ 作曲のプロセス解説	土井康司
3 限	13:30-14:30	パネルディスカッション 「クリスマスの讃美歌 ～ その魅力と選びかた」	
4 限	14:35-15:35	*パネリスト* 小川宣嗣 インマヌエル聖宣神学院キリスト教会牧師 福井誠 日本バプテスト教会連合 玉川キリスト教会牧師 斉藤とし子 日本同盟基督教団 徳丸町キリスト教会 山崎維子 JECA 本郷台キリスト教会	

♪ ヒムプレーヤーについて

過日はヒムプレーヤーに関するアンケートにご協力くださり感謝申し上げます。福音讃美歌協会といのちのことば社では、ヒムプレーヤー本体と追加搭載可能なアドオンデータ（ニューヒムプレーヤー専用）の商品化に向けて、教会の具体的な需要をお聞きしながらメーカー・発売元と交渉を継続しています。しかし、注文見込み数が商品化の条件として提示されている台数に満たないために、交渉が難航してるのが現状です。新たな進展がありましたら、ジャーナルやDM等でご案内をいたします。また、ヒムプレーヤーに代わるアプリの提供なども検討しています。

♪ 讃美歌についての集会を企画してみませんか。

礼拝説教、伝道会、修養会、讃美についての学び、音楽奉仕者の研修や講習などに、福音讃美歌協会の理事、讃美歌委員を派遣いたします。ぜひお招きください。

お問い合わせ：info@jeacs.org tel.03-5341-6920 fax.03-5341-6921（いのちのことば社）

＊ 会 計 報 告 ＊

2014年4月-2014年9月

■収入の部■

科 目	2014年度予算	2014年度中間報告
会員負担金	1,210,000	955,000
正会員	750,000	750,000
準会員	60,000	0
賛助会員	400,000	205,000
自由献金	230,000	123,000
その他	190,000	170,203
当年度収入合計（A）	1,630,000	1,248,203
前年度繰越金	1,190,885	1,190,885
収入合計（B）	2,820,885	2,439,088

■支出の部■

科 目	2014年度予算	2014年度中間報告
理事会費	110,000	48,221
委員会費	520,000	104,897
人件費	360,000	180,000
事務費	395,000	185,216
ジャーナル発行費	420,000	217,588
カンファレンス開催費	200,000	0
総会開催費	20,000	8,628
JEA関係費	35,000	35,000
予備費	50,000	0
当年度支出合計（C）	2,110,000	779,550
当年度収支差額（A） - （C）	- 480,000	468,653
繰越額／残高（B） - （C）	710,885	1,659,538

【賛助会費納入者】（2014年4月～2014年9月）

世田谷中央教会、菅生キリスト教会、都賀キリスト教会、馬天キリスト教会、大宮キリスト教会、栗橋キリスト教会、キリスト教朝顔教会、（7教会）

刑部照美、福田崇・愛子、稲垣博史・緋紗子、倉富隆子、横倉知恵、田村勉（6件）

【献金者】（2013年4月～2014年3月）

武蔵台キリスト福音教会、川越聖書教会、日本福音キリスト教会連合、大磯キリスト教会、西川晴子（5件）順不同

お名前の掲載を希望されない場合は、通信欄に匿名希望とお書きくださるか、メール（info@jeacs.org）で、その旨をお知らせください。

ハレルヤほうや

by yukinko



ハレルヤ 13・15

福音讃美歌協会・会員募集

◇会員の種別は、以下の三種類です。

正会員（教会・教団・教派等）、準会員（超教派団体・グループ等）、賛助会員（趣旨に賛同し支援してくださる教会、個人等）

◇賛助会員のお申し込みは、入会申込書をご請求いただき、必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお送りください。承認後、年会費のお振込みにより入会が完了致します。

◇正会員、準会員のお申し込みにつきましては、協会へ直接お問い合わせください。

◆郵便振替口座◆

番号 00220-1-95127
名称 福音讃美歌協会

◆郵便貯金口座（ばるる）◆

番号 10500-82654721
名称 福音讃美歌協会

◆銀行口座◆

みずほ銀行 ユーカリが丘支店
普通預金 口座番号 1604668
名称 福音讃美歌協会

一般社団法人 福音讃美歌協会 JEACS

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1
OCCビル 602号室

tel.03-5341-6920 fax.03-5341-6921
(いのちのこば社出版事業部内)

ホームページ <http://jeacs.org/> メール info@jeacs.org

From Editor

編集後記

礼拝学と讃美歌学は、日本の福音派にとって比較的弱い分野のひとつと云えるのではないだろうか。牧師も信徒もみんな、誠実に主を礼拝し、心から主を讃美しています。礼拝と讃美について真剣に考え、取り組んでもいいでしょう。ただ、それらはいずれも実践的な領域のことであって、神学としての掘り下げはまだまだ浅いと言わざるをえません。そして、より良い実践を求めようとするなら、より深い神学的な取り組みが必要となるでしょう。

礼拝学と讃美歌学は、ともに歴史神学的な面を持っています。時間的には、旧約時代から現代にいたるまでの流れの中にあり、空間的には全世界的な広がりを持つています。実践神学的な側面から見ると、礼拝学と讃美歌学は、非常に近く緊密な関係にあります。讃美は礼拝における主要な要素のひとつであり、礼拝は讃美歌が歌われる最も重要な場です。また、礼拝と讃美が聖書神学における主要テーマのひとつであることを理解するには、モーセ五書や詩篇、黙示録を見れば十分でしょう。同時に、礼拝と讃美は時代や社会の影響を受けやすい分野でもあります。

それだけに、この二つは、確かなみことばに立脚しつつ、過去の歴史を学び、現代世界へも目を配りながら、教会が真剣に取り組まなければならない大切な課題です。日本の福音派の中からも、礼拝学と讃美歌学のすぐれた研究者が起こされることを祈ります。

(な)

福音讃美歌ジャーナル

■発行者■安藤能成

■編集者■中山信児